



# 熊野古道 伊勢路を行く

尾鷲の霊場「岩屋堂」

岩屋堂内

尾鷲の北にそびえる天狗倉山。標高522mの山です。世界遺産に登録された熊野古道・馬越峠に注目が集まっていますが、今回はその天狗倉山の東側にある岩屋堂のお話です。

天狗倉山頂上の巨岩「天狗岩」は有名ですが、ここ岩屋堂にも大きな岩がどっしりとかまえています。この岩の大きさは東西約10.5m、南北16.2m、高さ21mあり、『西国三十三所名所図会』には「天狗岩窟」と紹介されています。かつては馬越峠とつながっており、西国巡礼の人たちがよく参拝したと言われています。

岩屋内には鎌倉末期のものといわれる本尊の聖観音石像、西国三十三所の本尊を模したと言われる三十三体の観音石像が安置されており、他に宝永4年(1707)の津波被災者供養の地蔵がまつられています。観音石仏はどれも軟質の砂岩製ですが、岩屋内に安置されているため、きれいな状態で残っています。さらには、修験者が護摩を焚いたといわれている道具も保存されています。

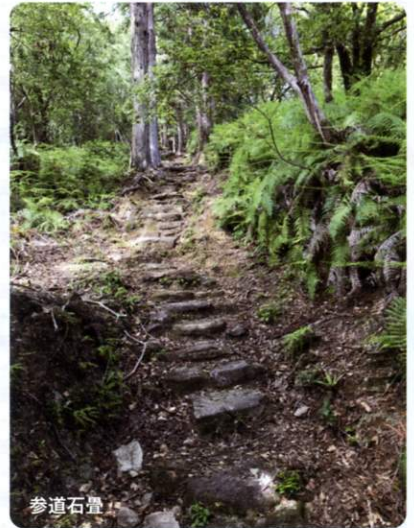
まさに「尾鷲の霊場」です。

現在、この岩屋堂では、毎月18日を「岩屋堂お参りの日」とし、常盤寺副住職による読経が行われています。

また、馬越の農道から始まる参道は、馬越峠にも負けないくらいの苔むした石畳が続き、山中の自然と重なり、訪れる人を厳かな気持ちにさせてくれます。

このように尾鷲の北に位置する天狗倉山には、世界遺産の熊野古道・伊勢路の馬越峠や、巨石に守られた岩屋堂があり、参詣者や修験者たちの足跡がうかがえます。そして、尾鷲の南に位置する八鬼山には、天正時代の町石や荒神堂が残っています。

それらから推測すると、この尾鷲帯には古くから霊場が形成されていた可能性があり、そこに注目した専門家による研究も続けられています。自然崇拝の心が受け継がれている証となる研究を、当センターでも、今後見守っていきたくと思っています。



参道石畳

### 天狗倉山まるごとプロジェクト

「天狗倉山まるごとプロジェクト」というボランティアチームが、天狗倉山一帯を整備してくれています。この岩屋堂も参道も手入れが行き届き、気持ちよくお参りできます。感謝です。



## 熊野古道からのてがみ

熊野古道からのてがみ  
51 通目

私たちのグループ「膳」は、伊勢地方で唯重紀州の皆様と活動してきました。平成13年4月に仲間3人で、衰退の進む地域と農地の活性化と、当時注目を浴び始めたツツラト峠の保全改修を目的に、地域活性化グループ「膳」を立ち上げました。以来19年の間に、仲間の一人が志半ばで亡くなり、もう一人も遠のき二時は一人で孤軍奮闘してきましたが、新たに愛知県からの移住者と従兄弟の3人と、ほかに女性4人も加わり小さなグループとなりました。その間、訪れる客にアスファルト道を通るのでなく、昔の旅人が歩いたであろう、森林の土道を歩いてもいい、浴道へ桜やモミジの植樹、景観作物の栽培を続けております。

伊勢から大紀町までの伊勢路で唯一ツツラト峠が世界遺産に指定され、以来訪れる人たちに道中を楽しんでいただける様、三年前から放棄農地を開拓し、秋の



小倉 公守 さん  
 (大紀町)  
 代表 宮川流域内人熊野古道伊勢路を守る会  
 日本風情街道マンスク倶楽部 会員

七草フジバカマを植え、最初は自ら十数株の苗を購入し、仲間の協力を得て増殖し、昨年は県下を誇る40アールの農地に植えられたフジバカマの芳醇な香りに誘われた旅の蝶アサギマダラが乱舞する姿をお見せすることができました。ツツラト峠を訪れる旅人への「オモテナシ」として続けていきたいと思っています。

また私たちの会定でもありません、補助金に頼らず荒地を復旧した農地で栽培し収穫した作物で得た収益で、コソツと歩ず、身の丈の活動を続けてまいりたいと思っております。

自らは三年前に大病を患いましたが拾った命。後継者もでき、これから一日二日を大切にこの活動を楽しみながら続けて行きたいと思う今日この頃です。

今年もアサギマダラ蝶の舞うパラダイスを増床しますので、読者の皆様もお楽しみください。

## 花尻薫からの季節のたより No.51

山や野原に映える落葉樹で、高さ1.5m~3m位の植物です。臭木の葉には長い柄があり、夏から晩秋に枝先が分かれて、多数の花をつけます。花が終わると紅色の堅い実をつけます。葉には強い臭いがあるので、「くさぎ」と名前が付けられたそうです。名前を覚えるには、葉をもんで、においを嗅ぐ方法があります。白い花には芳香があり、近くでも感じられます。

若葉はゆでて食べるので、昔、飢饉のときは、木の葉をゆでて乾燥したものを保存したと言われていました。春に出る若葉をゆでて乾燥したものをゆでて、水にしたものを、油でいためて食用にするそうです。



クサギ(臭木)  
シソ科

方言も多く、愛知県以西の西日本では、広くクサギと言われています。愛知県東部から静岡県と長野県の境では、トリ葉または、なまってトヨバというそうです。南伊豆半島では、ボウズクサイ、山梨県ではオボツクサイ、他にはクサナギ・クサツ・トーノキなどと言うそうです。

臭木は北海道・本州・九州から台湾・中国にかけて広く分布しています。自生地は平地から海拔800m位の山地で、原野・丘陵地・海岸・河原・山麓や谷間に大小の群落をつくって見られます。温帯・亜熱帯では葉の裏が絹状になったものを、ピロウドクサギと言うそうです。欧米ではクサギを観賞用に栽培するそうです。

センター敷地内「夢古道おわせ」  
ぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング  
営業時間 11:00~14:00  
料金 中学生以上.....1,200円  
小学生以上.....700円  
4歳~小学生.....300円  
4歳未満.....無料  
60歳以上.....1,000円

尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」  
深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後も力が残ります。

お風呂がわりは、カフェでゆったり  
お風呂は26℃の湯。お風呂は300円、100円でご利用いただけます。

営業時間 9:00~16:30  
カフェオーダー 16:00

「夢古道おわせ」に関するお問い合わせは TEL 0597-22-1124

熊野古道センターからのてがみ  
2019年 夏号

●発行日:2019年6月10日(季刊)  
 ●編集・発行:三重県立熊野古道センター  
 (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)  
 ●編集担当:東  
 ●連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4  
 TEL 0597-25-2666  
 FAX 0597-25-2667  
 Mail info@kumanokodocenter.com  
 ●開館時間:午前9時~午後5時  
 ●入場料:無料  
 ●休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索

ホームページ  
http://www.kumanokodocenter.com/  
60000190610MH

熊野古道 伊勢路 通行止め一部解除のお知らせ  
熊野古道伊勢路「横垣峠道」の一部(横垣峠(石碑)~坂ノ峠区間)は通行が解除となりました。

●詳しくは御浜町教育委員会 TEL.05979-3-0526までお問い合わせください。

お車で越えの方は...  
尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルビオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)※尾鷲南ICからは約8分

電車で越えの方は...  
JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」下車

熊野古道センターからのてがみ  
2019年 夏号

●発行日:2019年6月10日(季刊)  
 ●編集・発行:三重県立熊野古道センター  
 (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)  
 ●編集担当:東  
 ●連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4  
 TEL 0597-25-2666  
 FAX 0597-25-2667  
 Mail info@kumanokodocenter.com  
 ●開館時間:午前9時~午後5時  
 ●入場料:無料  
 ●休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索

ホームページ  
http://www.kumanokodocenter.com/  
60000190610MH

熊野古道 伊勢路 通行止め一部解除のお知らせ  
熊野古道伊勢路「横垣峠道」の一部(横垣峠(石碑)~坂ノ峠区間)は通行が解除となりました。

●詳しくは御浜町教育委員会 TEL.05979-3-0526までお問い合わせください。

その他  
**Guide&Tips**

熊野古道  
世界遺産登録を振り返る「あの頃」

世界遺産などという言葉、ほとんどの人は知らなかった。自然遺産、文化遺産、複合遺産という三領域についてもあわせて勉強した。世界遺産の指定にあたって「紀伊山地の霊場と参詣道」というタイトルが発表され、参詣道は「さんけいみち」と読むことに統一された。バッファゾーンやコアゾーンなどの、使い慣れない言葉も急に周囲にあふれた。

15年前の登録とその前の数年間の動きは、あわただしく活気に満ちたものだった。荷坂峠から曾根次郎坂・太郎坂などの古道の復活整備に活躍した、多くの峠を守る会の人々と知り合いになった。登録に向けての行政と民間の協力・共同の営みも滑らかに進んでいった。

ザックをかつぎ、山靴をはいた人などほとんど見なかった街のバス停に、毎日必ず峠から下りて来た人がたがずんでいる。そのような風景を作りだしただけで、登録の意義はあったと振り返っている。

熊野古道センター長 川端 守



企画展  
世界遺産登録15周年記念企画展  
**熊野古道伊勢路**

～くまのみちを歩いた人々～

熊野古道伊勢路を歩いた人々の道中日記や道中案内記などの史料、衣装などを実物やパネル展示する他、熊野古道伊勢路の魅力、写真や映像を通して紹介します。

7/6(土)・9/1(日)  
時間 午前9時～午後5時  
場所 企画展示室  
入場料 無料  
●会期中無休

旬の企画展



企画展  
世界遺産登録15周年記念企画展  
フォトグラファー 杉本 恭子 写真展

～東紀州11年の想い～

熊野古道写真学校にて、講師を務めていただいた写真家杉本恭子氏の写真展です。杉本氏が熊野で撮影した写真を中心に展示します。

9/14(土)  
10/27(日)  
時間 午前9時～午後5時  
場所 企画展示室  
入場料 無料 ●会期中無休

付属事業  
世界遺産登録15周年記念講演会

7/20(土) 伊勢路を歩いた人々の巡礼体験  
時間 午後1時30分～3時  
場所 映像ホール  
入場料 無料  
定員 80名(要申込・先着順)

付属事業  
9/14(土) 杉本 恭子 講演会・写真講習会

展示初日に写真家・杉本恭子氏による講演会を行います。事前に提出いただいた写真をその場で講習する写真講習会も行います。  
時間 午前10時30分～12時30分  
場所 映像ホール  
入場料 無料  
定員 80名(要申込・先着順)

ロビー展  
世界遺産登録15周年記念ロビー展  
写真で巡る紀伊山地の霊場と参詣道

三重、奈良、和歌山3県にまたがる世界遺産。その構成資産である熊野古道や三つの霊場の魅力を写真で紹介いたします。

7/6(土)・8/25(日)  
時間 午前9時～午後5時  
場所 展示室ロビー  
入場料 無料  
●会期中無休



特別展示室  
企画展  
47都道府県を  
たびしよう!

「さがしもの原画展」  
「絵さがし絵本」で子どもに大人気の絵本作家やまもとしんじ氏の原画展。絵本の世界をのぞいてみよう!

6/22(土)・8/18(日)  
時間 午前10時～午後5時  
場所 特別展示室  
入場料 無料  
●会期中無休 ●最終日は午後3時まで

付属事業  
6/22(土)・23(日)・8/18(日)

絵本販売&似顔絵サイン会

販売会当日に絵本をご購入いただいた方へイラストか似顔絵をプレゼント。世界に一つだけの絵本を手に入れよう!原画展開催中は通常本、またはイラスト入りのサイン本を交流棟「総合案内カウンター」にて随時販売しております。

8/4(日) まきえもんをつくろう!

絵さがし絵本「47都道府県をたびしよう!」にっぽん全国のさがしもの」登場人物に親しんでいたため、主人公まきえもんの立体作品を作ります。

時間 ①午前10時～12時、②午後1時30分～3時30分  
参加料 各回500円(材料費込み)  
定員 各回20名(要申込・多数の場合抽選)  
場所 体験学習室  
講師 やまもと しんじ氏  
(絵本作家・イラストレーター)

特別展示室  
企画展  
尾鷲市立 中央公民館  
郷土室 収蔵品展

8/31(土)・10/6(日)  
時間 午前10時～午後5時  
場所 特別展示室  
入場料 無料

夏の思い出づくり体験教室

クラフト体験や木工体験など、お友達やご家族みんなで一緒にご参加いただける大人気の体験プログラム。スラックラインやよく飛び紙飛行機など、無料で楽しめるイベントも同時開催。

9(金) 木琴づくり | 石鹸づくり  
受付期間 7/9(水)～8/2(水) 午後5時まで  
時間 午前10時～正午  
参加料 1,500円  
場所 体験学習室  
定員 15名(応募多数の場合抽選)  
講師 熊野古道センター職員

10(土) テレイドスコップづくり | 木の実クラフト  
受付期間 7/9(水)～8/2(水) 午後5時まで  
時間 午前10時～正午  
参加料 500円  
場所 体験学習室  
定員 15名(応募多数の場合抽選)  
講師 熊野古道センター職員

9(金) 10(土) ヒノキのバターナイフづくり | 端材工作 | よく飛び紙飛行機づくり  
受付期間 7/9(水)～8/2(水) 午後5時まで  
時間 午前10時～正午 / 午後1時～3時  
参加料 各200円  
場所 交流棟大ホール  
定員 なし  
講師 熊野古道センター職員

交流イベント  
世界遺産登録15周年記念イベント

7/7(日) 星空の下で灯りと音楽を楽しもう

7月7日は熊野古道が世界遺産に登録された記念日です。この七夕の夜に、熊野古道センターの芝生広場一面にヒノキの灯りを灯すイベントに参加してみませんか?  
時間 午後6時～8時  
場所 熊野古道センター芝生広場  
出演 津荷 裕子氏 (ヴォーカリスト)

6/7(金)・7/7(日) ヒノキの行灯づくり体験

ヒノキの行灯づくりの参加者を期間中、随時募集します。当日(7月7日)は行灯の灯りとジャズの音色に乗せて夜空の星に願いを届けます。  
時間 午前10時～午後5時 定員 200名(先着順)  
※7月7日は午後4時まで  
対象 7月7日(日)の点灯イベントにご参加いただける方  
参加料 700円(材料費込み) ●作った行灯は7月7日のイベント終了後にお持ち帰りいただけます。

爽やか!! 夏のアジ料理

東紀州の特産品や食材の魅力を知っていただくための料理教室です。  
夏にぴったりの爽やかなアジ料理のレシピを学びます。  
時間 午後1時～3時  
参加料 2,000円  
定員 24名(要申込・応募多数の場合抽選)  
場所 体験学習室  
講師 村林 新吾氏(相可高校食物調理科教師) 相可高校調理クラブの皆さん

日曜ものづくり体験教室

東紀州で活躍中の木工職人や芸家を講師に、毎週日曜日に開催している体験教室です。事前申込不要で、小さなお子様から大人まで気軽に楽しんで頂けます。  
時間 午後1時～3時受付  
参加料 200円(※体験によって異なります)  
場所 交流棟ロビー  
講師 大形 弥生氏、村川 実氏、竹内 健悟氏、中井 智章氏、吉田 誠人氏、熊野古道センター職員

講演会  
世界遺産登録15周年記念講演会

8/11(日) 東紀州の食について考える

開館以来「東紀州の四季を味わう料理教室」で講師を務めていただいている、相可高校食物調理科教師・村林新吾先生による講演会です。東紀州の食材や、熊野古道センターでの料理教室のあゆみについてお話をいただきます。  
時間 午後1時30分～3時  
参加料 無料  
定員 200名(要申込・先着順)

講演会  
世界遺産登録15周年記念講演会

9/15(日) 尾鷲ヒノキを活用した木造建築

建築家・広谷純弘氏による講演会。  
「熊野古道センター」/「伝統と新しさが創る空間美について」をテーマにお話しいただきます。  
時間 午後1時30分～3時30分  
参加料 無料  
定員 200名(要申込・先着順)

和歌山県 世界遺産センターからのお知らせ

新緑が美しい季節となりました。熊野古道には国内外から多くの方がお見えになり、当センターもご利用いただいております。また、3月～5月には参詣道保全活動(道普請)に下記の通り多数の団体の皆様に参加されました。世界遺産は顕著な普遍的価値を持ち、「人類共通の宝物」といわれます。世界遺産を通して人々が交流し、文化や価値観の多様性を認識し合うことで、平和へつなげることも世界遺産の大切な役割の一つです。その世界遺産の一つ「紀伊山地の霊場と参詣道」の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう当センターでは、世界遺産セミナーを開催しています。第2回では、7月7日(世界遺産登録15周年記念日)に「戦前の映画に見る熊野路の風景」について講演を行う予定になっています。

令和元年度 第2回 世界遺産セミナー(予定)

7/7(日) 13:00～16:00  
講師 戦前の映画に見る熊野路の風景  
奈良県大淀町教育委員会学芸員 松田 度氏  
和歌山県立紀伊風土記の丘学芸員 蘇原 剛志氏  
和歌山県教育委員会文化遺産課主査 仲原 知之氏  
場所 世界遺産熊野本宮館(和歌山県田辺市本宮町本宮100-1)

平成31年3月～令和元年5月 道普請参加団体(敬称略)

新宮市立熊野川小学校、環境保全トレッキング、観光振興課ファームツアー、和歌山県世界遺産マスター全体研修会、リコージャパン株式会社和歌山支社、さわかも一般財団法人、キャリアールホテル旅行専門学校、株式会社紀陽銀行、南海電気鉄道株式会社、富士古河E&C株式会社、KDDI株式会社、三菱電機株式会社冷熱システム製作所、日本電通株式会社、JT熊野古道を歩く道普請のなかまたち

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせ  
和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお願いいたします。  
住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp